

仙北新報改題

秋田民報

発行所
秋田民報社
〒014 大仙市大曲栄町10番22号
電話 0187-63-2122
郵便振替口座 秋田02570-3-67

各種御宴会・お祝い
仕出し料理・ご法要
大曲
プラザたつみ
☎0187-63-0537
大仙市大曲通町8-15

きょうの紙面

地域住民で賑わう	②面
クマ対策に430万円	②面
BBSへの理解深める	③面
米価高騰の今こそ	④面

アイデアと情熱で世界へ

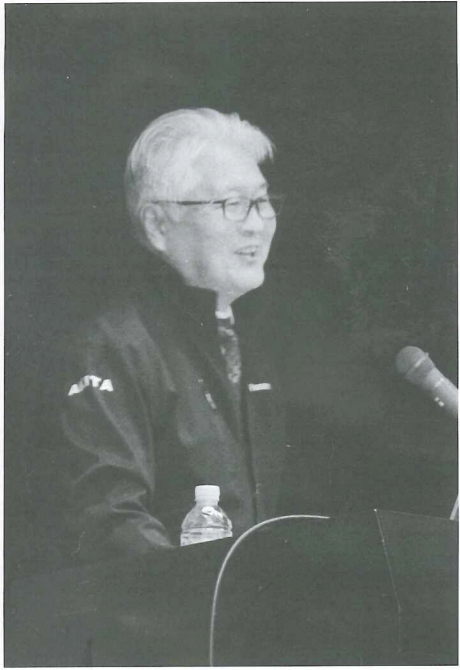
宮腰精機の藤原鈴司さんが講演



あいさつする熊谷会長



各方面で活かされる宮腰の技術を紹介



講演する藤原さん



花束を受ける藤原さん

「アイデアと情熱
さえあれば、地元秋田
で働きながら世界を相
手に仕事ができる」。太
田文化プラザで5日
に開催された大仙市太
田地域文化講演会で、
宮腰精機株式会社取締
役の藤原鈴司さん（63）
が力を込めた。太田中
学校の全校生徒や地域

住民など、市内外から
約170人が参加。最
先端の技術を駆使して
世界に挑む地元企業の
取り組みに聞き入った。
講演に先立ち、主催
の太田地域自治組織連
絡協議会の熊谷隆雄会
長があいさつ。「世界
で活躍する地元企業を
知る有意義な機会」と
期待を込めた。

藤原さんは昭和37
年、太田町生まれ。太
田中、横手高校、岩手
大学農学部を経て昭和
60年、宮腰精機国見製
作所（現・国見工場）
に入社した。現在は取

締役として国見・刈和
野面工場長を務める。
印刷機の設計から販
売まで一貫して手がけ
る同社。アナログ印刷
機とデジタル印刷機双
方を取り扱い、高性能
な印刷機と後加工機を
提供する世界唯一の印
刷機メーカーとして、
国内外の顧客ニーズに
柔軟に 대응。

その技術は航空会社
のバゲージタグやJR
東日本の新幹線チケッ
ト、マクドナルドの包
装紙、宝くじなど、身
近な製品に広く活かさ
れており、会場の参加
者からは「こんなもの
まで」と驚きの声があ
がった。

講演では、藤原さん
が開発に携わった設定
操作AIアシストシス
テム「Vass（ヴァス）」
を紹介。印刷業
界では失敗して捨てる
損紙を「ヤレ」と呼ぶ
ことから、それを「レ
ス（無くす）」という意
味で名付けた。熟練工
の経験と勘に頼ってい
た印刷機の水量調整
を、AIが温度や湿度、
インキ温度などを検知
して最適値を提示。経
験の浅いオペレーター
でも高品質な印刷を実
現でき、損紙を30%以
上削減する。

今年9月にスペイン
で開催された国際展示
会では、水とインク量

をAIが自動調整する
「Vass AIプロフェッ
ショナル」と生成AI
を活用した最新機種を
出品。多言語対応で外
国人労働者も母語で操
作できることから、人
手不足と高齢化が進む
印刷業界の救世主とし
て注目を集めた。

「お客様の困りごと
を解決しようとする情
熱や発想力が挑戦の力
となる」と語る藤原さ
ん。「開発を止めたら
企業は死んでしまう。
新しいことにどんどん
挑戦していかなないと、
お客様の困りごとと解決
にも対応できなくな
る」。変化を恐れず技
術革新に挑む重要性を
強調し、新技術のトレ
ンドを敏感に取り入れ
て学び続ける姿勢や、
諦めずに最後までやり
抜く意気込みの大切さ
を訴えた。

太田地域から参加し
た50代男性は「人口減
少が進んで働く場所も
減る中、地元の若者を
積極的に採用し、地域
に貢献できる企業があ
るのには素晴らしい。新

しい技術をどんどん取
り入れて挑戦する姿勢
がとても勉強になっ
た」と話した。

むかい風

この毎日のようにクマ
の出没情報がテレビで
報道されますが、死者
も出ておりますし、け
が人もたくさん出てお
ります。クマは猛獣で
す。獣（けだもの）です。
里山から人間の居住地
に出没したら駆除すべ
きです。「かわいそう
だ」とかいつてる場合
ではありません。私は
三〇数年前県の観光課
に所属していたころ、
阿仁町の「松橋吉太
郎」さんという「また
ぎ」にお会いをしてい
る取材をしたことが
あります。クマ
は生息数の管理が一番
大切な。多すぎるとエ
サがいきわたらなくな
ります。適度な間引き
が必要なんです。」
と聞いていたこと
を思い出しまし
た。今はクマの生
息数が多すぎます
から「間引き」をす
る必要があると思
います。県が「クマ一
〇〇〇頭捕獲・駆除大
作戦」を実施してみた
らいかがですか。「クマ
を捕獲・駆除すれば一
頭あたり二〇万円の報
奨金を出します」とい
うのはどうでしょう
か？二億円もあればで
きますよ。これを二年
間続ければ生息数もち
ょう良くなるのでは
ないでしょうか？突
然ですが、秋田民報社
の佐藤元一会長さんが
「帰幽」なされてしま
ってから二か月余りにな
りました。私もそろそ
ろこの辺で「むかい風」
のペンを書きたいと思
います。どうもありが
とうございました。

（永・良）

講演後、太田中の代
表生徒が感謝の花束を
贈ると、会場は大きな
拍手に包まれた。